

AIMGAIN スタートアップ型 第1回 WS プログラム

日時：5月18日 13:00-18:00

場所：日本橋ライフサイエンスハブ

プログラム

12:00	受付開始
13:00	開場
13:00-13:05	千葉 PS ご挨拶
13:05-13:15	内閣府笠松参事官ご挨拶
13:15-13:30	AIMGAIN 事業紹介 (AMED)
13:30-13:45	ご挨拶ならびに LINK-J 紹介 (LINK-J 曾山さま)
13:45-13:50	事務局連絡
13:50-15:50	口頭発表 (ピッチ)
17:45-18:00	第2回 WS 紹介、閉会挨拶 (AMED)
14:00-17:30	ポスター発表
15:45-17:30	「革新的医療技術研究開発推進事業(産学官共同型)」(スタートアップ型)に関する個別相談会

口頭発表 各演題 7分

- 13:50-13:57 O-01 光スイッチタンパク質をプラットフォームとした、研究用リサーチツールのご紹介および創薬開発について (株式会社ミーバイオ)
- 13:57-14:04 O-02 多能性幹細胞を用いた他家免疫細胞療法のウイルス感染症への適応 (リバーセル株式会社)
- 14:04-14:11 O-03 骨粗鬆症性椎体骨折に対する新しい脊椎内固定インプラント Spin CJ system の研究開発 -合併症・再手術を押さえる臨床開発の低侵襲性治療機器- (株式会社スパイクロニクルジャパン)
- 14:11-14:18 O-04 デジタルデバイスとヘルスケア：なにげない日常を記録することから始める「健康」とは？ (株式会社ヒューマノーム研究所)
- 14:18-14:25 O-05 RNA 創薬」RNA 干渉を用いた早期膀胱がん、心筋梗塞治療薬の開発 (株式会社 e-NA Biotec)
- 14:25-14:32 O-06 ブロックチェーン技術と AI を活用した患者中心のアウトカムを改善するプラットフォーム (株式会社 AKT Health)
- 14:32-14:39 O-07 ワイヤレス給電およびクローズドループを活用した植え込み型神経刺激装置の開発 (株式会社 INOPASE)
- 14:39-14:46 O-08 生体制御系タンパク質であるラクトフェリンの医薬品開発について (株式会社S&Kバイオフィーマ)
- 14:46-14:53 O-09 概日リズムの可視化とその診断・治療への活用 (株式会社 S'UIMIN)
- 14:53-15:00 O-10 iPS 細胞治療の社会実装とプラットフォーム技術 (Heartseed 株式会社)
- 15:00-15:07 O-11 カルテ要約・構造化技術『SATOMI』[®]による情報の抽出・利活用 (エニシア株式会社)
- 15:07-15:14 O-12 We break through the boundary of biologics. (ミラバイオロジクス株式会社)
- 15:14-15:21 O-13 宇宙技術をメディカルへ！ ～iMAGINE-X の挑戦～ (株式会社 iMAGINE-X)
- 15:21-15:28 O-14 廃棄するヒト組織から新たな医療材料を開発する 難治性潰瘍の被覆材、細胞治療材料の開発 (パルジュネム株式会社)
- 15:28-15:35 O-15 電気浸透流ポンプが実現する高圧投与吸引 (アットドウス株式会社)
- 15:35-15:42 O-16 ジスルフィドリッチペプチドで切り開く新たなペプチド創薬 (Veneno Technologies 株式会社)
- 15:42-15:49 O-17 胎児超音波検査の自動化システム開発 (株式会社 Gifts)

ポスター発表

- P-01 光スイッチタンパク質をプラットフォームとした、研究用リサーチツールのご紹介
および創薬開発について (株式会社ミーバイオ)
- P-02 3D 幾何学 (非ラメラ) 液晶プラットフォーム-多機能・万能型の次世代 DDS 製剤
技術- (株式会社ファルネックス)
- P-03 骨粗鬆症性椎体骨折に対する新しい脊椎内固定インプラント Spin CJ system の研究
開発-合併症・再手術を押さえる臨床開発の低侵襲性治療機器-
(株式会社スパインクロニクルジャパン)
- P-04 RNA 創薬」RNA 干渉を用いた早期膀胱がん、心筋梗塞治療薬の開発
(株式会社 e-NA Biotec)
- P-05 ワイヤレス給電およびクローズドループを活用した植え込み型神経刺激装置の
(株式会社 INOPASE)
- P-06 生体制御系タンパク質であるラクトフェリンの医薬品開発について
(株式会社S&Kバイオフィーマ)
- P-07 患者由来がんスフェロイド細胞をもちいた薬剤感受性試験を活用した、
”がん個別化医療” (京ダイアグノスティクス株式会社)
- P-08 カルテ要約・構造化技術『SATOMI』[®]による情報の抽出・利活用
(エニシア株式会社)
- P-09 アルファ線治療創薬のための生体イメージング装置の開発 (株式会社 iMAGINE-X)
- P-10 高粘度の薬剤を低侵襲の針で容易に投与・吸引する電動シリンジの開発
(アットドウス株式会社)
- P-11 廃棄するヒト組織(胎盤および胎盤周囲組織)から新たな医療材料を開発する
難治性潰瘍の被覆材、細胞治療材料の開発 (パルジュネム株式会社)
- P-12 ジスルフィドリッチペプチドで切り開く新たなペプチド創薬
(Veneno Technologies 株式会社)